

この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2015年3月までの期間限定で使用できます。

CASBEE 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版Ver.2 (BPI/BEI対応) | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010bpi8bei(v.2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	小規模特養くずは西美郷	階数	地上3F
建設地	大阪府枚方市西船橋2丁目3217-1他4筆	構造	S造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、準防風地域	平均居住人員	119人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年2月 0.0	評価の実施日	2014年6月9日
敷地面積	1,827㎡	作成者	(株)大建設 東岡正康
建築面積	976㎡	確認日	2014年6月9日
延床面積	2,140㎡	確認者	(株)大建設 東岡正康



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.6

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合	地域と共に生きることを目的とした施設であり、開放性や安全性に留意しています。	
その他	0	
Q1 室内環境	断熱性能高い外壁材や遮熱効果の高いガラス材をするなど、空調負荷の低減に配慮しています。	Q2 サービス性能
Q2 サービス性能	共同生活室を中心とした住民同志のコミュニティーの成長を促すために落ち着いた内装計画等の配慮を行っています。	Q3 室外環境(敷地内)
Q3 室外環境(敷地内)	緑地を周辺に配置し、生活に縁を取り入れたものとしています。	LR1 エネルギー
LR1 エネルギー	空調システムや照明器具も高率のよいものを選択しています。	LR2 資源・マテリアル
LR2 資源・マテリアル	環境を破壊しない資源利用(化学物質・冷媒等)を行っています。	LR3 敷地外環境
LR3 敷地外環境	周辺地域・環境に対しての影響(騒音振動・悪臭など)を抑える計画を行っています。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム

大阪府の重点評価(結果)

Osakafu-新築・既存2010V1.03

【建物概要】	建物名称	小規模特別養護老人ホームくずは西美郷		
	建設地	大阪府枚方市西船橋2丁目3217-1他4筆		
	用途/区分	病院		
【評価結果】	CASBEE 総合評価			B+
	CO2削減			3
	省エネ対策			3
	みどり・ヒート アイランド対策			2
	エネルギー消費量の報告			報告しない

【評価項目】					
省エネルギー対策		① CO2削減			
		② 省エネ対策			
項目	評価内容	スコア	評価		
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.3	3		
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 3」のスコアによる評価	建物全体	3.0	3
			住戸・宿泊	3.0	
	建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	4.0		
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0		
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	4.0		
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価	3.0		
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価	3.0		
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない		
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策			
項目	評価内容	スコア	評価		
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	2		
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	2.0			
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	2.0			
その他					
先進的技術の導入	技術の名称	考慮事項			
特に配慮した事項					